

FACULTY OF CULTURAL STUDIES



- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 現代社会学部
- 国際関係学部
- 外国語学部
- 文化学部
- 理学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- アントレプレナーシップ学環

文化学部事務室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL.075-705-1941
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



公式LINE
@k.s.u



文化学部 Instagram
@ksubunka



公式 YouTube
@KyotoSangyoUniversity



京都産業大学
Web サイト

※本誌に登場する人物のプロフィールや教育内容、施設などの情報は取材時のものであり変更になる場合があります。

ABOUT

Faculty of Cultural Studies

京都と世界を舞台に
ホンモノの文化を
探究する

私たちが取り組む文化学とは、あらゆる事象における「つながり」を探究する学びです。歴史や思想、芸術、社会構造など、物事の背景にある関係性を見つめ、その奥深い本質を解き明かしていきます。こうした学びの鍵は、レプリカでは得られない「ホンモノ」に触れる体験に他なりません。長らく日本文化の発信拠点であり続けた京都は、最高の「学びの場」であり、「学びの対象」でもあります。町家や神社仏閣、伝統産業の現場など街全体をフィールドとし、各界の第一線で活躍する方々と交流しながら、生きた文化を深く掘り下げます。多彩なフィールドでの実践的な活動が、真の文化理解力を育むのです。そして学びの舞台は、世界へ。国際社会で主体的に行動できるグローバルな人材の育成を目指し、「英語特別コース」を設け、英語運用能力を徹底的に磨き上げます。同時に、伝統的な人文学の知見に生成AIやデジタル技術を積極的に融合させる「デジタルヒューマニティーズ」を展開していきます。伝統的な人文学を基調とした「ホンモノ」に触れるフィールドワークと最先端のデジタル技術。この両輪を駆動させることで、過去を深く理解し、次世代に向けた新たな文化価値を創造・発信できる人材を育成します。

詳細はWebへ



文化学部

2026年4月リニューアル!

文化構想学科

世界の歴史、思想、文学、芸術を学び、異文化理解を深めながら、現代的なデジタル技術も取り入れ、新たな文化価値を創造、発信できる力を養います。

京都文化学科

日本文化の中心的役割を担っている京都で、歴史、生活文化、伝統工芸などを実践的に学びます。デジタル技術も活用し、日本文化を世界に広める次代の情報発信の担い手を育てます。

文化観光学科

現代の観光は、名所だけでなく生活文化などを含み、対象がより多様化しています。SDGsの視点も踏まえ、文化と観光を取り巻く課題解決を目指し未来の文化観光の在り方を考えます。



MAP of Keywords

多彩なキーワードが示す、文化学部の学びの地図。多様な知識をむすび、新たな価値をうみだす学びは、あなたの可能性を広げ、未来への扉を開きます。さあ、ここから探究の旅に出かけましょう。

Pick Up

エンタメ

音楽や舞台の歴史を紐解くと、いま私たちが見たり聞いたりしているエンタメの長い文化が見えてきます。

伝統工芸

受け継がれてきた先人たちの技や知見、感性を学び、持続可能な社会を実現する知恵を学びましょう。

おもてなし

おもてなしって、学ぶもの? 「おもてなし」を五感で感じて、自分流の「おもてなし」を見つけましょう。



詳細はWebへ

FACULTY OF CULTURAL STUDIES

京都産業大学

FACULTY OF CULTURAL STUDIES

FEATURES

文化学部の特長

「京都」と「世界」をむすぶ

Feature-1

デジタルヒューマニティーズを展開する人材の育成

生成AIやデジタル技術を活用し、人文学（ヒューマニティーズ）の学びを進化させ、次世代に向けた文化価値を創造、展開、発信できる人材を育成します。



Feature-3

フィールドでの学びを通じた文化理解力の育成

京都や日本列島、そして世界の諸文化が展開するさまざまなフィールドでの学びや活動を通して、文化理解力を培います。



Feature-2

英語運用能力の強化

国際社会において、文化に関わる諸問題に主体的に取り組むことができるグローバルな人材を育成します。「英語特別コース」を設置するほか、長期留学を推奨し、実践的な英語運用能力を培います。



Feature-4

学びの場としての京都、学びの対象としての京都

長く日本文化の発信拠点であり続けた京都の各所をフィールドに、各界の方々との交流を軸にして、「学びの場」、「学びの対象」としての京都を見つめます。

文化学部海外異文化研修

毎年9月～12月に実施する約3か月間のプログラムで、留学先はカナダ・トンプソンリバース大学とタイ・チェンマイ大学のどちらかを選択。語学力を集中的に身に付けながら、現地の文化を学びます。また、現地でのフィールドワークに参加して、深い知識を修得し学びに生かします。



フィールドワーク

京都という地の利を生かした、フィールドでの学びを重視。

- 文化構想フィールド演習**
博物館、美術館、劇場など、さまざまな文化と出合える場所に赴き、調査対象を観察、描写し、他者に伝える方法を実践的に学びます。
- 京都文化フィールド演習**
学生一人一人が京都の伝統行事や宗教神事の運営・参加、職人の工房・地場産業における現地実習、また社寺、遺跡などの実地踏査を行います。
- 文化観光フィールド演習**
京都ならではの多彩なテーマから体験型演習を実施。文化観光と社会との関わり、文化観光を学ぶ意義や観光が地域にもたらす効果・影響などを現場から学びます。

文化学部



詳細はWebへ

文化構想学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF CULTURAL EXPLORATION AND CO-CREATION

人文学×デジタルで、新たな文化価値を見いだすクリエイターへ

人文学の知見とデジタル技術を組み合わせて未来に向けた新たな文化の在り方を構想する、それが文化構想学です。文化構想学科では、古今東西の歴史や思想、文学や芸術に触れ、新たなアイデアや自分らしさをうみだすための多様な価値観を学びます。また、ポップカルチャー、メディアアート、メディアパフォーマンスの領域にも視野を広げ、生成AIなど先端の情報学的手法も学んで「人文学×デジタル」による新たな文化価値を創造します。

POINT 学科のポイント

古今東西の多様な文化を学ぶ

古今東西の歴史や思想、文学や芸術に触れ、新たなアイデアや自分らしさをうみだすための多様な価値観を身に付け、創造性を育みます。

古典からサブカルチャーまで幅広く探究

ポップカルチャー、メディアアート、メディアパフォーマンスなどの科目も展開。古典からサブカルチャーまで幅広く学べます。

デジタルヒューマニティーズの新たな展開

最先端の情報学的手法を学び、人文学×デジタル技術の融合による従来にない視点で、新たな文化価値を探究・創造します。



ポップカルチャー論
小説、マンガ、アニメ、ファッションなどをテーマに、「ポップカルチャー」と呼ばれる現象を多角的に捉えます。また、文化のアーカイブ化についても学び、現代文化の活用・発信・継承の方法を考えます。



デジタル表現実習
2次元(2D)および3次元(3D)コンピュータグラフィックスの基礎的な技術の修得を目指します。ソフトウェアを用いて、実際にデジタルヒューマニティーズに関わる2D、3DCG作品を制作します。

SEMINAR ゼミナール紹介

Topic :

広範囲なリサーチを行い
舞台芸術と社会との関わりを解き明かす

Outline :

ミュージカルなど舞台芸術と、政治や社会の動きとの関連に注目して研究しています。扱う範囲は広く、アメリカンコミックスと映画の関わりや、ミュージカル作品と企業とのタイアップについて研究する学生もいます。法学や経済学など他の学術分野にリサーチが及ぶこともあり、ワンキャンパスの特性を生かしてその分野の専門家に意見を尋ねて丁寧にリサーチします。

田中 里奈 准教授

専門分野：演劇社会学、比較興行研究（ドイツ語圏と東アジア）



STUDENT VOICE



歌劇作品を深掘りしていくことで歴史の新たな一面を発見

宝塚歌劇の作品について研究しています。ロベスピエールという登場人物について、歴史的観点を踏まえながら、彼が登場する他作品との比較などを行っています。調べるうちに、歴史の教科書では触れられていないことが見えてきて、演出家もそれを描こうとしていることに気がきました。単に面白いと思って観ていた作品を、より深く捉えられるようになりました。

粟津 有里菜

国際文化学科* 4年次
(京都府・京都聖母学院高等学校出身)

* 2026年4月から文化構想学科に改組

4-YEAR STUDIES

4年間の流れ 文化構想学の基礎を固め、専門性を深める

1年次の演習科目「入門セミナー」で文化構想学を学ぶ基本を修得。講義科目で異文化理解の思考と多様性、国際性の基礎を学びます。2年次以降は、古典からサブカルチャーまで幅広い「文化」について、専門の学びを深めます。



文化学の土台となる基礎を着実に修得	専門分野を深く学び研究の基盤力を養成	各自の研究テーマに取り組み、それぞれの専門領域に関するより深い知見を身に付ける
基幹科目 ●文化構想学概論 ●デジタルヒューマニティーズ概論 ●ヨーロッパ文化入門 ●アジア文化入門 ●西洋美術史入門 ●イングリッシュ・セミナー など		
3つの分野から自由に科目を選択		
文化表現	●ポップカルチャー論 ●舞台芸術文化論 ●英語文学作品論 ●ヨーロッパ文学論 など	
文化理解	●東洋思想 ●アメリカの歴史 ●カルチュラル・スタディーズ など	
文化情報・交流	●メディアアート論 ●メディアとパフォーマンス ●デジタル表現実習 ●異文化コミュニケーション論 など	
演習科目	●入門セミナー ●基礎演習 ●デジタルヒューマニティーズ演習 ●文化構想フィールド演習 ●文化学PBL ●文化学インターンシップ など	
学部独自の 実践的キャリア教育	人文学とキャリアデザイン 文化学PBL1・2	文化学インターンシップ
2年次からは 海外留学にも挑戦	文化学部海外異文化研修	全学部共通の留学プログラム (長期留学・短期留学)

卒業後の進路

- 情報通信
- 広告・出版・マスコミ
- 商社・貿易
- 金融
- 公務員
- アントレプレナー
- 大学院進学 など

SEMINAR & FACULTY

ゼミナール&教員DATA 2026年4月予定



世界遺産の光と影(スペイン、ラテンアメリカを中心に)【井尻 香代子 教授】/「学び」について【大平 睦美 教授】/外国語教育【小川 知恵 准教授】/リフレットからはじめよう! 西洋史研究【梶原 洋一 准教授】/こぼれが映す文化のかたち一言語データから考える文化の今【加野 まきみ 教授】/中国の「もの見方・考え方」について調査する【久米 裕子 教授】/イタリア哲学史【倉科 岳志 教授】/西洋美術を中心にイメージの世界を探索する【桑原 夏子 准教授】/人文知(歴史・哲学・宗教)を駆使して現代の諸問題を読み解く【近藤 剛 教授】/現代舞台芸術の興行研究(ミュージカルを例に)【田中 里奈 准教授】/アメリカと日本の現代文学研究【中 良子 教授】/中国の歴史・宗教・文化——ユーラシアとのつながりから考える【中田 美絵 准教授】/文学作品の読解と研究【中西 佳世子 教授】/フィクションが描く個人【中野 永子 准教授】/US Music and Culture【ヒューバート ラッセル ポール准教授】/日本風景論【平澤 剛 准教授】/Exploring Culture, Behavior, and Environment【ファン ジェリーユンテ 准教授】/ジェンダー・セクシュアリティ【藤高 和輝 准教授】/ヨーロッパ文学におけるモチーフの継承【宮坂 真紀 助教】/歴史を通して学ぶアメリカ【和田 光弘 教授】



詳細はWebへ

京都文化学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF KYOTO STUDIES

“ホンモノ”を五感で感じ、京都文化の真髄に迫るリサーチャーへ

千年を超える歴史の中で磨かれた伝統文化を背景に、創造と革新を繰り返してきた歴史都市・京都。この京都の文化を多角的に学ぶ講義とともに、京都の地で“ホンモノ”に触れるフィールドワークが充実しているのが京都文化学科。京都文化の魅力を世界に向けて表現・発信できる力も身に付けます。また、京都に集積する貴重な文献や文化遺産のアーカイブ化など、デジタル技術も活用し、日本文化・京都文化の真髄に迫り、新たな発見・発信を目指します。

POINT 学科のポイント

座学×フィールドワーク

で京都文化を体感

京都文化を考察する学内での講義と、貴重な文化財や伝統行事を感じる没入型のフィールドワークを通して、京都文化の真髄に迫ります。

デジタル技術も活用し、

新たな京都を発見する

京都に集積する貴重な古文書や文化遺産のアーカイブ化など、デジタル技術も活用して新たな日本文化・京都文化を発見します。

“ホンモノ”を世界へ、

表現・発信する

京都文化の“ホンモノ”を深く学び、理解するだけでなく、その魅力を世界に向けて表現・発信できる力を身に付けます。

PickUp 授業



デジタルアーカイブ論

歴史資料や文化資産のデジタル化とその活用について学びます。デジタル化の歴史やデジタルアーカイブの仕組み、現状と課題、図書館・博物館や社会での活用など、技術的な側面を含めて学びます。

PickUp 授業



京都文化フィールド演習

学生一人一人が京都の伝統行事や宗教神事の運営などに参加。また、職人の工房・地場産業における現地実習や社寺・遺跡などへの実地踏査を行い、五感で日本文化・京都文化の真髄を感じます。

SEMINAR ゼミナール紹介

Topic :

古都・京都の恵まれた環境を生かし
フィールドワークにより作品への理解を深める

雲岡 梓 准教授
専門分野：古典文学、近世文学

Outline :

『源氏物語』など古典作品の読解と、物語の舞台やゆかりの場所でのフィールドワークを行っています。読解では、品詞分解など細かい部分にこだわらず、物語を味わい、豊かな世界を楽しむことを大切にしています。フィールドワークは、学生が新しい気付きを得る機会です。『源氏物語』に京の都から宇治に住む姫君に会いに行く場面があり、実際に大学から宇治まで移動することで、その距離を牛車で移動する苦勞を想像して愛の深さを感じたという学生もいます。その後の卒業研究では、各自が興味のある作品を取り上げており、古典作品以外にも現代作品やライトノベルを題材にする学生も少なくありません。



STUDENT VOICE



古典に縁のある京都の街を巡り作品の背景を読み解く

このゼミナールは、古典の舞台を訪ねるフィールドワークを重視しています。宇治の源氏物語ミュージアムを訪ねた際は、『源氏物語』の世界観を体験しました。秋は各自でテーマを決めて現地調査を実施。古典を身近に感じ、造詣を深めます。テーマ決定から場所の選定、研究発表まで、全プロセスを自分で行うので、主体性が磨かれます。計画性、スケジュール管理能力も鍛えられました。

浜崎 瞬介

京都文化学科 3年次
(大阪府立牧野高等学校出身)

4-YEAR STUDIES

4年間の流れ 京都文化を体感し、専門分野を実践的に学ぶ

1年次の演習科目「京都文化フィールド演習」で京都文化の“ホンモノ”を五感で感じ、講義科目で京都文化学の基礎を身に付けます。2年次以降は、歴史、美術、生活文化、伝統工芸、庭園などの専門分野を実践的に学びます。



文化学の土台となる基礎を着実に修得	専門分野を深く学び研究の基盤力を養成	各自の研究テーマに取り組み、それぞれの専門領域に関するより深い知見を身に付ける
基幹科目 ●京都文化学概論 ●デジタルヒューマニティーズ概論 ●文化財入門 ●日本美術史入門 ●日本食文化入門 ●ベーシック・スキルズ など		
3つの分野から自由に科目を選択		
歴史文化	●日本史概論 ●京都の地理 ●日本文学論 ●日本史資料論 など	
文化遺産	●京都の生活文化 ●京都の伝統工芸 ●京都の庭園 ●京都の美術 など	
文化情報・交流	●Exploring Kyoto Culture (華道・茶道) ●デジタルアーカイブ論 ●デジタル資料分析論 など	
演習科目	●京都文化フィールド演習 ●基礎演習 ●デジタルヒューマニティーズ演習 ●文化遺産調査演習 ●文化学PBL ●文化学インターンシップ など	
学部独自の 実践的キャリア教育	文化学PBL1・2	文化学インターンシップ
2年次からは 海外留学にも挑戦	文化学部海外異文化研修	全学部共通の留学プログラム (長期留学・短期留学)

卒業後の進路

- 伝統文化産業
- メーカー
- 広告・出版・マスコミ
- 公務員
- 学芸員
- 図書館司書
- アントレプレナー
- 大学院進学 など

SEMINAR & FACULTY

ゼミナール&教員DATA 2026年4月予定



京都をフィールドに地域調査のいろはを学ぶ【熊野 貴文 准教授】/京都を舞台とする古典文学【雲岡 梓 准教授】/京都の伝統文化振興、地域連携、就業力・社会人基礎力の育成【小林 一彦 教授】/日本の近世・近代を考える一国家・地域・政治・文化、さまざまな視点から【菅部 昌利 教授】/日本美術の鑑賞と探究～見る感動、知る喜び、研究する愉しさ～【高橋 早紀子 准教授】/伝統文化の保存と継承-それぞれの制度と認識を辿る-【田中 直子 准教授】/伝統工芸と伝統意匠についての研究【成田 智恵子 准教授】/Researching Kyoto Culture from an international perspective【ベレッキア ディエゴ 准教授】/京都の庭園を掘り探る【マレス エマニュエル 准教授】/京都の「日常」「あたり前」を学問する【村上 忠喜 教授】/京都の歴史を「読む」「歩く」【吉野 秋二 教授】/日本の人物や社会を歴史的に考える【若松 正志 教授】



詳細はWebへ

文化観光学科

詳細はWebへ



DEPARTMENT OF CULTURE AND TOURISM

観光が多様化する現代で、未来の観光デザイナーへ

現代の観光は、名所・旧跡だけでなく、生活文化などを含み、対象がより多様となっています。文化観光学科では、歴史や文化が集積する観光都市・京都で培われた知識や技術を実践的に学びます。観光関連産業や行政団体の協力のもと、地の利を生かした教育を展開するほか、近年注目されるSDGsの視点なども重視。文化と観光を取り巻く課題発見・解決を目指し、さらには各地域性を生かした新たな文化観光の在り方について考えます。

POINT 学科のポイント

京都の地の利を生かす

歴史や文化が集積する観光都市・京都。京都で培われた観光文化のノウハウを学び、未来の観光の在り方を考えます。

文系・理系を超えた学び

文化、歴史、社会動向、自然環境など、さまざまな視点から観光の意味や実態にアプローチします。

課題解決型で実践力を養成

観光関連産業や行政と連携し、実践的な学びを展開。観光のリアルを体感して得た知識を、未来の観光にどう生かすかを考察します。

PickUp授業



サスティナブル・ツーリズム論

環境・社会文化・経済という3つの側面から、持続可能な観光の実現のために何が必要となるのかについて、国内外の政策や取り組みを理解した上で、具体事例から学びます。

PickUp授業



観光調査演習

観光地におけるアンケート調査やインタビューの仕方、フィールドワークの際の注目すべき点、得られたデータのまとめ方や分析方法など、観光で用いる諸調査における基礎的な事項について学びます。

SEMINAR ゼミナール紹介

Topic :

「京都モダン建築祭」を通して学ぶ、
建築視点での観光文化

Outline :

京都に現存するモダン建築が特別公開される「京都モダン建築祭」にサポートスタッフとして参加するとともに、一般参加者対象の特別ツアーを企画。パンフレットを作成し、当日はガイドを務めます。歴史的建築物の立ち並ぶ街全体をフィールドとし、教養としての建築文化や建築視点での観光文化についての学びを深め、オンリーワン人材の育成を目指します。

前田 尚武 教授 (2026年4月就任予定)

専門分野：観光と地域づくり、建築文化、ミュージアム・デザイン



撮影協力/京都市セラ美術館

STUDENT VOICE



京都のモダン建築を学び、その魅力を自分の言葉で発信

ゼミナール活動として京都モダン建築祭でのボランティアや京都市セラ美術館でのガイドツアーを行いました。ガイドに向けては、美術館の建築物としての魅力などを調査してパンフレットも制作しました。フロントや構成にまでこだわってパンフレットを作り、来場者に見所を解説する経験を通して、自分の言葉で意見を発信する力や相手に分かりやすく伝えるためのスキルが養われたと感じます。

垂井 美里

京都文化学科* 4年次
(兵庫県立宝塚高等学校出身)

*2026年4月、京都文化学科・文化観光学科に改組

4-YEAR STUDIES

4年間の流れ 調査の基礎から実践へ、観光のリアルを探究する

1年次の演習科目「観光調査演習」で調査・研究の実践的方法を学び、講義科目で文化観光学やデジタル分野の基礎を学びます。2年次以降は、観光関連産業などと協働して観光の実態を学び、文化観光を実践的に学びます。



文化学の土台となる
基礎を着実に修得

専門分野を深く学び
研究の基盤力を養成

各自の研究テーマに取り組み、
それぞれの専門領域に関する
より深い知見を身に付ける

基幹科目

- 文化観光学概論 ●デジタルヒューマニティーズ概論 ●地域景観デザイン入門 ●京都観光入門 ●比較観光入門
- インターメディアイト・プレゼンテーション など

3つの分野から自由に科目を選択

観光文化

- 観光社会学 ●観光文化史 ●観光地理学 ●観光と自然環境 など

発展科目

地域づくり

- おもてなし文化論 ●サスティナブル・ツーリズム論 ●京都の建築と景観 など

観光産業

- ツーリズムと現代文化 ●観光メディア論 ●Exploring Tourism (ツアーガイド)
- 観光とデータサイエンス など

演習科目

- 文化観光フィールド演習 ●基礎演習 ●デジタルヒューマニティーズ演習 ●観光調査演習 ●文化学PBL
- 文化学インターンシップ など

学部独自の
実践的キャリア教育

文化学PBL1・2

文化学インターンシップ

2年次からは
海外留学にも挑戦

文化学部海外異文化研修

全学部共通の留学プログラム
(長期留学・短期留学)

卒業後の進路

- 旅行会社 ●鉄道・航空会社 ●ホテル・旅館など宿泊施設 ●テーマパーク ●文化観光関連産業
- 公務員 ●観光地域づくり法人(DMO) ●観光系・まちづくり系などの団体 ●大学院進学 など

SEMINAR & FACULTY

ゼミナール&教員DATA 2026年4月予定



Global Encounters: Culture, Business, and Communication in Tourism【アイシャ アスタリ 助教】* / こんにちの「京都の趣味観光」を質的調査して深く考察する【奥野 圭太郎 講師】/ 観光にクリエイティブな発想をふんだんに取り入れてみる【佐藤 慎一 教授】* / 観光の基礎を楽しく学び、地域の魅力を発見する【高崎 邦子 教授】 / 観光現象と現代社会の関係を多面的に考える【寺岡 伸悟 教授】 / 交流・観光と人類の発展: 京都と世界の視座から考える【中野 宏幸 教授】 / 建築のフィールドミュージアム・京都のモダン建築を学び、伝える【前田 尚武 教授】 / キャリアの発達・形成について心理学的に考える【森本 康太郎 教授】 / サスティナブル・ツーリズム: 環境と文化をキーワードに、未来の観光を考える【山本 芳華 教授】

*2027年4月就任予定

EDUCATION

学びの紹介

座学を超えリアルな体験、興味を探究できる自由な学び、留学での新発見、社会で生かせる実践スキル。進化した文化学部での学びは想像以上におもしろい。文化学部の在學生に、文化学を学ぶ意義を聞きました。

座学だけでなく、
体験型の授業が多いのは驚き！

京都を舞台に学ぶ機会が豊富です。伝統文化は堅苦しいイメージがりましたが、実際は違って、フィールドワークで体験した華道は、型にとらわれず自分らしさを自由に表現できて楽しかったです。文化を体験することは、まだ気付いていなかった自分の興味や関心に出会うきっかけにもなります。ホテルのインターンシップにも参加し、言葉遣いや知識など働く上で自分に足りない点も分かったので、就職活動にも役立つことができました。

古野 うらら

京都文化学科^{*1}4年次
(滋賀県立彦根翔西館高等学校出身)



海外留学の経験が
新たな興味関心につながる！

外国人に英語で日本文化を伝えられるようになりたいと文化学部へ。文化学部独自の留学プログラムで約3カ月間カナダへ留学しました。ホストファミリーと暮らしながら現地の文化や歴史を学び、多文化共生の理解を深めました。英語のダイレクトな表現と日本語の遠回しな伝え方の違いを実感し、カナダのオープンな文化と京都の奥ゆかしい文化の対比を考察しました。これらの経験を通して、言語と文化の関係に新たな関心を抱きました。

児玉 泰一

国際文化学科^{*2}3年次
(大阪府立金岡高等学校出身)



社会で役立つスキルが
身に付くことを実感。

現地に行き、人と出会う、だからこそ分かる知識がある。それが、京都で京都文化を学ぶ面白さです。日本が誇る「おもてなし」について興味があり、京都・南座の方々にインタビュー調査できたことは貴重な経験でした。アポイントメントも自分たちで取り、コミュニケーション能力や実行力が養われ、社会人に必要なスキルが身に付きました。また、効率的な情報検索法やデータ活用法も、図書館司書の資格取得を目指す中で学んでいます。

小島 奈美

京都文化学科^{*1}4年次
(京都市立日吉ヶ丘高等学校出身)



^{*1} 2026年4月、京都文化学科・文化観光学科に改組
^{*2} 2026年4月、文化構想学科に改組

撮影：京都丹波高原国定公園ビジターセンター

GRADUATE'S INTERVIEW

卒業生紹介

INTERVIEW

一般社団法人
南丹市美山観光まちづくり協会 勤務

井本 環 さん

京都文化学科 2019年卒業

Q.現在の業務内容について教えてください。

観光事業を通じ、美山の魅力を世界に発信しています。観光情報サイト「美山ナビ」やSNSの更新、旅行ツアーやイベントの企画・プロモーションおよび予約対応など幅広い業務を担っています。特に大切にしているのは、地域の方々や行政と密に連携し、持続的な観光地域づくりを推進することです。

Q.思い出に残っている大学時代の学びについて教えてください。

伝統工芸品の工房を見学したり、職人の方に取材したりする多彩なフィールドワークが強く印象に残っています。また、京都の文化を英語で学ぶ授業では、新たな視点から自国の魅力を再発見することができ、その中で培った日本や京都についての幅広い知識と語学力を生かすことで、増加する外国人旅行者にも美山の魅力を効果的に伝えることができています。

学生時代の思い出



2年次にタイへ留学し、現地の学校で日本語の授業をサポートするインターンシップにも挑戦しました。留学を通して高めた異文化理解力や日本の魅力を発信する力も、外国人旅行者への対応時に大いに生きています。

卒業生

大学で磨いた語学と
発信力で持続的な
観光地域づくりを推進



CAREERS

キャリア
サポート

文部科学省に最優秀賞と認められたキャリア実習をはじめ、入学直後から卒業まで多彩なキャリア形成支援プログラムを展開。低年次から自分のキャリアを描く機会を設け、社会で生き抜く力を育てます。就職活動では、約40人の専任スタッフが年間約12,000回の個別面談を実施するなど、きめ細かにサポート。こうして培われる資質や能力は、卒業生が就職した企業や社会からも高く評価されています。

就職率(文化学部)

97.7%

2024年度実績

資格

資格受験専門学校による講義を、特別価格で受講できます。講師は実績のある専門学校の受験対策スペシャリスト。資格サポート室とタッグを組み、資格・講座選びから合格まで徹底的にサポートします。

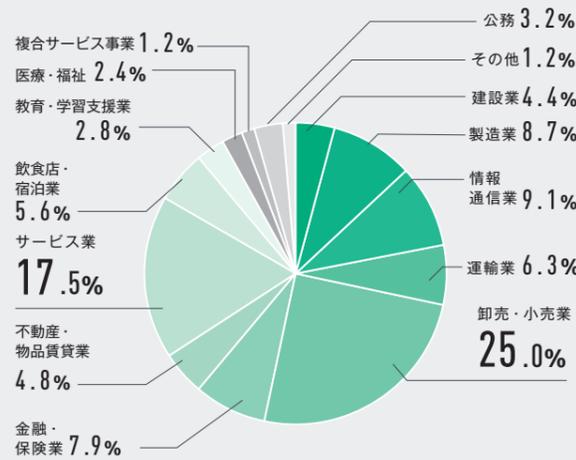
取得可能な教員免許状

- 文化構想学科
- 中学校教諭一種免許状(英語)
 - 高等学校教諭一種免許状(英語)
 - 京都文化学科
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)

取得を推奨している資格

- 学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- TOEIC®
- TOEFL®
- 京都市認定通訳ガイド
- 京都・観光文化検定

就職先 業種割合



2024年度実績

※就職先業種割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とまらない場合があります。

就職先一例 (50音順)

- | | | | | |
|----------------|------------|----------|-----------|--------------|
| エイチ・アイ・エス | 近畿日本鉄道(近鉄) | JTBグループ | 日本生命保険 | 山崎製パン |
| ANA成田エアポートサービス | 近鉄百貨店 | ソフトバンク | 阪急交通社 | 雪印メグミルク |
| SGホールディングス | クラシエ | 俵屋吉富 | ヒルトン東京ベイ | 良品計画 |
| 関西みらい銀行 | Kスカイ | 中国新聞社 | ファミリーマート | 国家公務員(国土交通省) |
| 菊正宗酒造 | ゴールドウイン | トランスコスモス | 三菱ロジスネクスト | 京都府庁 |
| 京都銀行 | JR東海 | 日本アクセス | 村田製作所 | 京都市役所 |

学部トピックス

大学卒業後の進路や将来像を早期に思い描き、充実した学生生活を送ることを目的に、学部独自の「キャリア教育科目」を展開。企業や行政機関と連携・協働し、課題解決型学習や企業などでの一定期間の就業体験を体系的に構築したプログラムを準備しています。

人文学とキャリアデザイン



大学での学びが、将来の自分自身のキャリアや社会とどのように関わるのか、大学卒業後に社会を生き抜く上で基本となるものの見方や考え方を育みます。

文化学PBL1・2



行政機関や民間企業と連携し、実社会の課題解決に取り組みます。課題解決活動を通して、社会で必要となる心構えや能力を身に付けます。

文化学インターンシップ



企業・団体での就業体験を通じて「働くとは何か」なることであるかを深く理解し、社会人基礎力を実践的に養い、高めていきます。

INTERVIEW



詳細はWebへ

日本航空株式会社(JAL)・客室乗務員 内定

内定者

野口 知輝

国際文化学科® 4年次(鳥根県立松江東高等学校出身)

Q.就職面接に役立った大学の支援や経験は?

進路・就職支援センターに2カ月間ほぼ毎日通い、面接練習を行っていただきました。そのおかげで面接では自信を持って回答することができました。また、ESS(英語研究会)というサークルではスピーチコンテストや外国人観光客へのガイドを経験。そこで高めたコミュニケーション能力も面接を突破する力になりました。

Q.将来に生かしたい大学での学びは?

また、就職活動の励みとなった経験は?

ゼミナールでのミュージカル研究で学んだ多彩な表現技法を生かし、お客様の心を彩る接客を行いたいです。就職活動の励みとなったのは、学内で募集されていた関西国際空港でのインターンシップです。インターンシップへの参加を通じ、客室乗務員への憧れがさらに高まりましたし、同じ業界を志望する仲間との出会いも大きな支えになりました。

学生時代の思い出



約1カ月間の海外インターンシップでは、シドニーの4つ星ホテルの就業を体験しました。英語を使いフロント業務を行う中で磨いた語学力や接客スキルは、客室乗務員となってから大いに生かしたいです。

※2026年4月から文化構想学科に改組

海外インターンシップで
高めた語学力を生かし
客室乗務員として活躍

INTERVIEW

三菱自動車工業株式会社 内定

内定者

森下 幸

国際文化学科® 4年次(大阪府立箕面高等学校出身)

Q.どのような4年間でしたか?

以前から興味があった思想や哲学に加え、幅広い分野の講義を受けました。経験から学ぶ大切さに気付き、「挑戦」をモットーに過ごした4年間でした。就職活動で内定先の企業と巡り合ったのも、夏季インターンシップを活用してさまざまな分野・職種にアプローチした結果です。

Q.就職活動で重視したことは?

「豊かな人生をサポートする」「成長し続ける自分である」を軸に活動しました。この2つの条件にぴったり合ったのが内定先企業です。多様な人を理解することにつながる文化学部での学びに加え、他学部の講義などで学んだ海外に関する知識を生かして活躍したいと考えています。

学生時代の思い出



文化学部の授業でインドに滞在しました。現地の人と交流し、インターネット上では知ることができない多くのことを感じ、挑戦し経験することの重要性を実感しました。一歩踏みだす力を得た経験です。

※2026年4月から文化構想学科に改組

思想・文化の学びが
多様性を理解する力になった